

## 6 教育課程の評価・改善

### (1) 学校評価における教育課程の評価

幼稚園における学校評価は、法令上、

- 幼稚園の教育活動その他の幼稚園の運営の状況について自己評価を行い、その結果を公表すること
- 保護者などの幼稚園の関係者による評価（「学校関係者評価」）を行うとともにその結果を公表するよう努めること
- 自己評価の結果・学校関係者評価の結果を設置者に報告することが必要である。

幼稚園において、具体的に学校評価を進める際には、幼稚園の実態に応じて重点的に取り組むことが必要な目標を設定し、その達成に必要な具体的な取組などを評価項目として設定し、その評価項目の達成・取組状況を把握するための指標を設定することが示されている。

教育課程もその重要な評価対象となりうる。学校評価ガイドラインを参考としつつ、目標を評価するに当たって適切なものを設定することが大切である。

### (2) 改善の意義

教育課程の評価に続いて行われなければならないのは、その改善である。

教育課程についての評価が行われたとしても、これがその改善に活かされなければ、評価本来の意義が発揮されない。このため、幼稚園においては、編成、実施した教育課程が教育目標を効果的に実現する働きをするよう、改善を図ることが求められている。教育課程の改善は、編成した教育課程をより適切なものに改めることであり、幼稚園は教育課程を絶えず改善する基本的態度をもつことが必要である。このような改善によってこそ幼稚園の教育活動が充実するとともにその質を高めることが期待できる。

### (3) 改善の方法

教育課程の改善の方法は、幼稚園の創意工夫によって具体的には異なるであろうが、一般的には次のような手順が考えられる。

- ①評価の資料を収集し、検討すること
- ②整理した問題点を検討し、原因と背景を明らかにすること
- ③改善案をつくり、実施すること

指導計画で設定した具体的なねらいや内容などのように、比較的直ちに修正できるものもあれば、人的、物的諸条件のように、比較的長期の見通しの下に改善の努力をしなければならないものもある。また、個々の部分修正にとどまるものもあれば、全体修正を必要とするものもある。さらに幼稚園内の教職員や設置者の努力によって改善できるものもあれば、家庭や地域の協力を得つつ改善の努力を必要とするものもある。それらのことを見定めて教育課程の改善を図り、一層適切な教育課程を編成するように努めなければならない。

事例1 幼稚園の教育目標に関する共通理解を図る

各園の課題や期待する幼児像などを明確にし、教育目標について理解を深める。

本園では、教育目標は変えてはいけないものであるという意識が教職員にあり、これまで長い間改訂されていなかった。その上、教職員による共通理解がなされなかったため「教育目標は何ですか。」と聞かれても即答することができず、要覧等を見ないと分からないといった状況であった。

さらに、平成20年度末に実施した「保護者アンケート調査」の結果、教育目標を知らない保護者が全体の3割を占めており、周知も十分でないことが明らかになった。学校評議員からも、教育目標の検討の必要性について意見が出された。

そこで、教育目標は園経営の要諦をなすものであるとの考えを全教職員で再認識し、奈良文化女子短期大学善野八千子教授の指導により教育目標を改訂することとした。その際、次のようなポイントで改訂に当たった。

- 幼児・保護者・地域の実態を把握し、育てたい子ども像を明確にする。
- 育てたい子ども像の共有化を図る。
- 文言を整理し覚えやすく言いやすいように工夫する。
- 評価項目が設定できる目標にする。

その結果、次のように教育目標を改訂することができた。

平成20年度

- ・心身共に健康で生き生きと活動できる子ども
- ・自然を愛し、生命の尊さを知る子ども
- ・豊かな感性をもち、自分の思いをのびのびと表現できる子ども
- ・自分でよく考え、工夫し最後までやり遂げる子ども
- ・友達と仲良く遊び、思いやりの心をもった子ども



平成21年度

「遊ぼう 学ぼう 楽しもう 笑顔いっぱい」

○めざす子ども像《人間力の育成》

- ・感性豊かな子ども
- ・たくましい子ども
- ・きまりを守る子ども
- ・理解し行動する子ども

〔善野八千子（2004）「学校評価を活かした学校改善の秘策～汗かく、字を書く、恥をかく～」〕  
〔善野八千子（2008）大和郡山市園長研修会講演資料〕

## 事例2 幼児の発達の過程を見通す

幼稚園生活の全体を通して、幼児がどのような発達をするのか、どの時期にどのような生活が展開されるのかなど発達の節目を探り、長期的に発達を見通す。

3歳・4歳・5歳児の幼児の姿について、実際に記録を取り、その時期にどのような育ちを期待したいのかを明確にもつことに努めた。その上で、必要となる経験やその経験が可能になる環境の構成と教師の援助を探りながら、どの時期にどのような生活が展開されるのかを読み取ることに努めた。



廊下に常置したホワイトボード

以下は、奈良文化女子短期大学善野八千子教授による指導にそって実践したものである。

教育目標「遊ぶ 学ぼう 楽しもう」の3つの視点に対応すると考えられる子どもの姿を全教職員で付箋に書きとめる。

横軸に教育目標、縦軸にクラス名としてホワイトボードに表を作成する。その枠内に付箋を貼っていく。ホワイトボードは常に見ることができるよう職員室前廊下に常置しておく。

幼児の発達の過程に応じて教育目標がどのように達成されていくかについて、およその予測をする。

全教職員が幼児の姿を捉え、付箋に記載し、ホワイトボードに掲示していく。教職員は、日々その記録に目を通したり、職員で研修する機会に活用したりして、子どもの見方や遊びの捉え方等を常時全員で共通理解していく。



ホワイトボードの付箋を使った研修

これらの取組により、教師は幼児一人一人のつぶやきや心の動きなどを受け止めることができるようになり、以前よりも幼児一人一人の考え方、感じ方、教師や友達とのかかわり方などに応じた指導を展開できるようになってきた。幼児の姿を具体的に読み取る場の積み重ねにより、教師が発達の過程をとらえることにつながっていったと考える。

〔善野八千子(2009)「学校評価レインボー・アクションプラン」〕

### 事例3 具体的なねらい・内容を組織する

幼児の発達の各時期にふさわしい生活が展開されるように適切なねらいと内容を設定する。

#### ○5歳児－Ⅲ期

友達とかかわりを深めながら共通の目的をもって遊びを進めていく時期

#### ○この時期、幼児に経験させておきたいこと

- ・友達同士でそれぞれの思いや力を出し合いながら遊ぶ。
- ・一人一人のもつイメージがつながり、友達と認め合う。

#### ○10月初旬の期間案で設定したねらい・内容

ねらい 友だちと相談しながら、目標に向かって取り組む。

内 容 お話「エルマーのぼうけん」より探偵ごっこをして遊ぶ。

幼児の姿を見取り、環境の構成や教師の援助を行う。

#### イメージを共有している

「エルマーのぼうけん」を読み、みかん狩り遠足に行くことと、絵本で読んだことと体験が重なり、冒険や探険のイメージを友達同士で楽しむ姿が見られた。

#### 共通体験を広げている

友達と話をしながら、稲刈りの様子や木の実・木の葉の種類、大きさなどについて発見している。十分な時間を確保することで、秋の自然に存分に触れる姿が見られた。

#### 経験とイメージを広げている

「探険」と称して小学校や幼稚園で見つけた秋の自然を、友達と一緒に地図に描いて楽しむ姿が見られた。

#### お話で遊ぶことを楽しんでいる

絵本をくり返し読むことで、その話の中の世界で遊ぶ楽しさを味わっている。そのことを生かして「冒険」や「探検遊び」を楽しむ姿が見られた。

#### 環境の構成及び教師の援助

- ・友達と共通の目的をもち遊びが広がっていく素材や場の設定をしておく。
- ・友達と一緒にイメージを広げ楽しむことができる共通体験の場を設ける。

#### <友達と思いや考えを出し合いながら目的に向かって協力する幼児の様子>

木の葉の散る頃、虫めがねや箱、セロファン、筒など様々な素材を用意しておくこと、探険グッズ作りが広がる。友達同士が刺激し合いながら望遠鏡、虫めがね、カメラ、リュックサック、ナイフ、懐中電灯などを作り、それをもって探険にでかけ、いろいろな落ち葉を発見する。発見した落ち葉の名前を調べたり、それをもとにオリジナルの図鑑を作ったり、手作りカメラで写真を撮り写真集を作ったりした。また、互いの図鑑で情報を交換したり、よく知っている友達に尋ねに行ったりする姿も見られた。さらに、同じ探険隊の仲間意識も高まり、並んで番号を点呼し人数チェックをしながら進んだり、手作り図鑑を片手に友達と一緒に調べたりする姿も見られた。チューインガムや棒付きキャンデーなどエルマーのお話からイメージした遊び道具も増え、エルマーになりきって探険に出かけたり動物島の動物になったりしていた。

教育課程を実施した結果を反省、評価し、次の編成に生かす。

友達と様々な体験を積み重ねることによって、同じ話題でイメージを共有しながら、共通の目的をもって遊びを進めていくことができた。その際の喜びや達成感、充実感を大切にしていって協同的な活動につながっていくことを改めて確認することができた。

発達の時期のとらえは変えることなく、期間案や日案における環境の構成や教師の援助、子どもの見方や遊びのとらえ方について研修を行い、次に生かしていくことを確認した。

# 教育課程表の参考例

本園の目標 遊ぼう・学ぼう・楽しもう・笑顔いっぱい  
 めざす子ども像 ・感性豊かな子ども ・たくましい子ども ・きまわりを守る子ども ・理解し行動する子ども

## 【年齢別指導目標】

3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園生活に慣れ、教師や友達とのかかわりが楽しめるようにする。</li> <li>・自分の好きな遊びが存分に楽しめるようにする。</li> </ul>
-----	---

月期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
時期	3 - I 期	3 - II 期	3 - III 期	3 - IV 期	3 - V 期	3 - VI 期	3 - VII 期	3 - VIII 期	3 - IX 期	3 - X 期	3 - XI 期	3 - XII 期
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園生活に慣れる時期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師とのふれあいの中で、自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活の流がわかち、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>・自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。</li> <li>・教師や友達のしていることに興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことは自分でやろうとする。</li> <li>・教師や友達とふれあって、いろいろな遊びをすることを喜ぶ。</li> <li>・戸外で伸び伸びと体を動かして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友達と喜んでかかわりながら、一緒に遊ぶ。</li> <li>・経験したことを自分なりに表現することを楽しむ。</li> <li>・身近な環境に興味や親しみをもつてかかわろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友達と喜んでかかわりながら、一緒に遊ぶ。</li> <li>・いろいろな友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・自分の思いをいろいろな方法で表現する。</li> <li>・伸び伸びと活動しながら大きくなったことを喜び、いろいろなことに頑張つて取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に遊びながら、言葉で交わす楽しさを味わう時期</li> </ul>					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつや返事、自分の名前を言う。</li> <li>・友達と一緒に雰囲気になれる。</li> <li>・自分の気に入った遊具や用具を使って遊ぶ。</li> <li>・教師の話に耳を傾ける。</li> <li>・歌を歌ったり、絵本や紙芝居を見たり聞いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動があることを知る。</li> <li>・教師と一緒に好きな遊びをする。</li> <li>・砂や土、水などを使って遊ぶ。</li> <li>・したいことやしてほしいことを動作や言葉で伝える。</li> <li>・身近な小動物などになって遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で体を動かして遊ぶ。</li> <li>・教師や友達と一緒に遊ぶ。</li> <li>・身の回りの自然に興味をもって遊ぶ。</li> <li>・簡単なストーリーのあるお話や絵本を聞く。</li> <li>・いろいろなリズムに合わせて体を動かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす遊びに自分から参加して遊ぶ。</li> <li>・気の合う友達と、自分から一緒に遊ぶ。</li> <li>・いろいろな素材や材料を使って遊ぶ。</li> <li>・思ったことや感じたことを、教師や友達に伝える。</li> <li>・簡単なお話の登場人物になって遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことや食事など、自分のごとは自分です。</li> <li>・いろいろなまきまりや約束を守って遊ぶ。</li> <li>・冬の寒さや春の暖かさを感じながら遊ぶ。</li> <li>・見つけたことやおもしろいことなどを自分なりの言葉で教師や友達に知らせる。</li> <li>・友達と一緒に、歌ったり体を動かしたりして遊ぶ。</li> </ul>							

4歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友達とのかかわりを深めながら、いろいろな活動に取り組み楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・自分の思いを出しながら、友達と遊ぶ楽しさを味わえるようにする。</li> </ul>
-----	---

月期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
時期	4 - I 期	4 - II 期	4 - III 期	4 - IV 期	4 - V 期	4 - VI 期	4 - VII 期	4 - VIII 期	4 - IX 期	4 - X 期	4 - XI 期	4 - XII 期
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年中組として新しい環境に慣れ、喜んで登園する。</li> <li>・自分の好きな遊びを楽しむ、安心して過ごす。</li> <li>・教師や友達と親しみをもちかかわろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とのかかわり、楽しみながら一緒に遊ぶ。</li> <li>・自分の好きな遊びを十分に楽しむ。</li> <li>・自分の思いを、言葉や様々な表現で表そうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな遊びを楽しむ、意欲的に活動に取り組む時期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に遊びを楽しむ、意欲的に活動に取り組む時期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを出しながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・いろいろな遊びや活動に意欲的に取り組む。</li> <li>・身近な環境に興味をもつてかかわろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と気持ちを合わせて遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・いろいろな遊びに意欲的に取り組む。</li> <li>・身近な環境に興味をもつてかかわろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを出しながら、友達と一緒に遊ぶ。</li> <li>・いろいろな遊びや活動に意欲的に取り組む。</li> <li>・自分の感じたことや気付いたことを様々な方法で表現しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしさを発揮しながら、友達とのかかわりを深める時期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とイメージを共有しながら遊びを楽しむ。</li> <li>・様々な経験を通して感じたことや感動を想像豊かに表現する。</li> <li>・年長児になるという期待をもち意欲的に活動に参加しようとする。</li> </ul>			

5 歳 児

- ・自分の力を存分に発揮し、友達とかかわりながら試したり工夫し、遊びが味わえるようにする。
- ・いろいろな活動のなかで、自分の力を発揮し、表現することを楽しむようにする。

内 容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	5 - I 期	5 - II 期	5 - III 期	5 - III 期	5 - III 期	5 - III 期	5 - III 期	5 - IV 期	5 - IV 期	5 - V 期	5 - V 期	5 - V 期
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友達の顔を覚え、一緒に遊ぶ。</li> <li>・生活する中できまみや約束があることを知り、守って遊ぶ。</li> <li>・身近な自然や小動物に親しむ。</li> <li>・友達と一緒に、教師に親しむの気持ちを持ち、話を聞く。</li> <li>・自分から、身近にある素材や材料を使ってかいたりつくったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友達と楽しんで食べる。</li> <li>・自分のしたいことを見つけて遊ぶ。</li> <li>・砂や水、泥などを使って存分に遊ぶ。</li> <li>・したいことやしてほしいこと、困ったことなどを教師や友達に伝える。</li> <li>・教師や友達と一緒に歌ったり、楽器を使ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で、十分に体を動かして遊ぶ。</li> <li>・目的をもって遊びにじっくりと取り組み。</li> <li>・園内外の自然に関心をもち、さわったり集めたりして遊ぶ。</li> <li>・教師や友達の話をしっかりと聞く。</li> <li>・自分なりのイメージを持ち、様々な素材や材料を遊びに取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が興味ある遊びに熱中し、繰り返し遊ぶ。</li> <li>・友達のことを見て、自分もやってみようとする。</li> <li>・身近な遊具や用具を使って遊ぶ。</li> <li>・自分の経験したことやイメージしたことを友達や教師に伝える。</li> <li>・友達と一緒に歌ったり、楽器を演奏したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力して活動に取り組み、充実感を味わう時期</li> <li>・自分らしさを発揮し、認められることで自信をもつ。</li> <li>・友達と共通の目的を持ち、考えを出し合ったり、役割を分担したりして遊びを進める。</li> <li>・自分なりに目的を持ち、様々なことに継続して取り組みようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とのかかわりを深めながら、共通の目的をもって遊びを進めていく時期</li> <li>・遊びの中で自分の思いを表現させていく喜びを感じる。</li> <li>・自分のしたいことや友達と一緒に共通の目的に向けて、最後までやり遂げようとする。</li> <li>・友達と思いや考えを出し合い、遊びを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に運動し、いろいろな遊具や用具を使って遊ぶ。</li> <li>・相手の思いに気付いたり、共感したりしながら友達と一緒に遊ぶ。</li> <li>・様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味をもつて遊ぶ。</li> <li>・相手の状況に応じて、言葉を使い分けて話す。</li> <li>・遊びに必要なものを、目的に合わせてかいたりつくったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園にある遊具などを安全に使い、生活の見通しをもって遊ぶ。</li> <li>・友達と共通の目的を持ち、工夫したり考えたりして遊ぶ。</li> <li>・身近な動植物とかかわって遊んだり、世話をしたりする。</li> <li>・自分の思いを相手に分かるように話ししたり、相手の話を聞いたりする。</li> <li>・友達と一緒に歌を歌ったり、リズム楽器を演奏したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、自分の身の回りのことは自分でできる。</li> <li>・友達と活動する中できまみや大切さに気付き、守る。</li> <li>・身近な遊具や用具を使って工夫して遊ぶ。</li> <li>・様々な活動に取り組み、自分の気持ちや考えを表現する。</li> <li>・感じたことや考えたことを自由にかいたりつくったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の健康な生活に必要な習慣を身に付ける。</li> <li>・友達の気持ちを受け止め、一緒に遊ぶ。</li> <li>・物を数えたり、様々な形を組み合わせて遊んだりして遊ぶ。</li> <li>・教師や友達の言葉、活動に親しむをもって聞いたり話したりする。</li> <li>・生活の中で、美しいものや心を動かす出来事にふれ、イメージを言葉や動きなどで表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全体で共通の目的を持ち、協同的な遊びや生活を展開していく時期</li> <li>・遊びや生活の中で役割を持ち、やり遂げようとする。</li> <li>・様々なことに心を動かす、積極的にかかわりを深める。</li> <li>・自分の成長を振り返り、自信をもって行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の健康に関心をもち、病気の予防に気を付けた生活をする。</li> <li>・友達と活発にかかわり、役割を代わったり、協力したりして遊ぶ。</li> <li>・文字や数の便利さに気付き、それらを使って遊ぶ。</li> <li>・思ったことや感じたことを友達に伝え、友達の考えや意見などを聞く。</li> <li>・友達と同じ目的を持ち、積極的に動きや言葉などで表現をする。</li> </ul>

## 小 学 校 教 育